

令和5年9月21日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

広報広聴委員会副委員長 石川 康弘  
外3名

### 議員派遣結果報告書

令和5年6月27日に決定された議員派遣について、次のとおり報告します。

#### 記

- 1 派遣名 議会広報研修会[北海道町村議会議長会主催]
- 2 目的 議会広報作成に必要な知識・情報を習得し、より住民に親しまれる「議会だより」を発行するため。
- 3 派遣場所 ポールスター札幌（札幌市中央区）
- 4 派遣期間 令和5年8月17日（1日間）
- 5 派遣議員 石川康弘、畠山美和、塚本逸彦、長谷陽子（以上4名）
- 6 派遣内容

#### 【議会広報研修会】

##### （1）内容

講義・クリニック 『伝わる議会報の編集ポイント』

講師 （一社）自治体広報広聴研究所

代表理事・広報アドバイザー 金井茂樹 氏

##### （2）所感

議会報の枠組み、読み手の分析、読者目線での編集、構造の重要性をパワーポイントにて用例を用いてその重要性を説き、普段そういった業務に携わらない限り知る機会のないデザイン業界でのレイアウト上の法則やノウハウを具体的に学べたことは実用性も高く貴重であった。

議会報作成の枠組みとして重要なことは「誰に・何を・どのように」伝えるかという「3つの心がけ（広報マインド）」であり、年齢、性別、生活スタイル等が異なる人たちに、情報の範囲を明確にし、表現や目的、意

義を持たせて議会報を作成する企画力が必要である。

また、読者の読解力・理解力につなげ、「伝わる議会報」すなわち「理解してもらえる議会報」にするための編集力が必要であり、見出しやリード文（予測情報）を活用した情報の構造化、デザイン性に配慮した表現の工夫について学んだ。

他自治体の広報紙を分析し解説するクリニックは非常にわかりやすく、配色、表の罫線、氏名には振り仮名を付けるなど、すぐにでも役立つ実用的なもので、特にユニバーサルデザイン配色についての紹介は関連業界以外の方々にはなかなか目が見えない情報であった。

紙面の作成において、いかに読者目線で興味をもって読んでもらえるかは常の課題であるが、レイアウト構成の見直しなど改善策を議論し、充実した議会報にしていかなければと強く感じた。



8/17 議会広報研修会



8/17 議会広報研修会